

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚悪性腫瘍	
	タイプ	メラノーマ	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Is dermoscopy useful for the diagnosis of melanoma? : Results of a meta-analysis using techniques adapted to the evaluation of diagnostic tests	
	論文の日本語タイトル	ダーモスコピーはメラノーマの診断に有用か？ 診断試験の評価へ適合した手法を用いたメタアナリシスの結果	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称		
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー/メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I)	
	Pubmed ID	11594860	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	137	
	号	10	
	ページ	1343-50	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2001 Oct	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Bafounta ML	Service de Dermatologie, Hopital Ambroise Pare, France
その他著者 1		Beauchet A	Antenne d'Informatique Medicale, Hopital Ambroise Pare, France
その他著者 2		Aegerter P	同上
その他著者 3		Saiag P	Service de Dermatologie, Hopital Ambroise Pare, France
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			

レビュー研究の6項目	目的	メラノーマ診断における肉眼所見での診断とダーモスコピー（熟練者）による診断の正確度の比較のメタアナリシス
	データソース	2000年3月までの関連文献をMEDLINEやEMBASEなどで渉猟、収集
	研究の選択	対象疾患の明記、最終診断が組織診断、感度と特異度の計算が可能、という条件を満たす研究を選択。672文献中8文献がこの条件を満たした。
	データ抽出	3人の研究者がデータを抽出し、不一致のものは話し合いで合意をえた。
	主な結果	1) 全体としてメラノーマ 328 病巣（多くは tumor thickness が 0.76mm 以下の早期病変）と良性病変 1865 病巣（メラノサイト系病変が主体）が対象となった。ダーモスコピーによるメラノーマ診断の感度は 0.75~0.96、特異度は 0.79~0.98 に分布した。 2) ダーモスコピーは肉眼所見による臨床診断よりも有意に高い検出力を示した。その推定オッズ比 (estimated odds ratio) は 76(95%CI:25-223)対 16(9-31)であった(P=0.008)。また、推定陽性尤度比(estimated positive likelihood ratio)は 9(5.6-19)対 3.7(2.8-5.3)であった。
	結論	ダーモスコピーは、熟練者が用いれば、肉眼所見のみよりもメラノーマの診断精度を有意に向上させる。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	斎田俊明
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (I) メラノーマの診断におけるダーモスコピーの有用性をメタアナリシスにて検討した信頼できる論文である。